

# 琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」①

環境・農水常任委員会 資料1  
平成30年(2018年)5月16日(水)  
琵琶湖環境部

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環の創出

「琵琶湖保全再生施策に関する計画」関連予算

【予算額 30,579百万円】

<内 訳>

|                       |           |                          |        |
|-----------------------|-----------|--------------------------|--------|
| ●水質の汚濁の防止および改善        | 14,282百万円 | ●施策の実施に資する調査研究           | 236百万円 |
| ●水源のかん養               | 9,130百万円  | ●施策に取り組む主体、推進体制の整備       | 110百万円 |
| ●生態系の保全および再生          | 1,578百万円  | ●施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他 | 615百万円 |
| ●農林水産業、観光、交通その他の産業の振興 | 4,628百万円  |                          |        |

## 計画の重点事項

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環をさらに推進



1

平成30年度当初予算 公表資料(抜粋)

# 琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」②

## 琵琶湖を『守る』取組

### 水産資源の回復

- 多様で豊かな湖づくり推進事業 (80百万円)  
(アユ、ニゴロブナ、ビワマスの放流等)
- 水産基盤整備事業 (367百万円)  
(ヨシ帯造成、砂地造成等)



琵琶湖漁業

### 水源林整備保全、鳥獣害対策

- 湖国の森林と自然を守るコホンザが特別対策事業 (116百万円)
- 陽光差し込む健康な森林づくり事業 (389百万円)

コホンザによる食害状況



### 生態系、生物多様性保全

- ヨシ群落保全管理事業 (17百万円)
- 早崎内湖再生事業 (85百万円)

ヨシ刈取状況



### ◆外来魚を除く琵琶湖漁獲量

H26:880T、H27:979T、H28:947T

### ◆オオバナミズキンバイ生育面積(年度末時点)

H26:4.5万㎡、H27:20.0万㎡、H28:13.1万㎡

### 外来生物対策

- 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 (313百万円)
- 有害外来魚ゼロ作戦事業 (56百万円)



オオバナミズキンバイ駆除

### 水草対策

- 水草刈取事業 (109百万円)
- 水草除去事業 (114百万円)



水草除去

2

平成30年度当初予算 公表資料(抜粋)

# 琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」③

## 琵琶湖を『活かす』取組

### 琵琶湖の活用推進

- (新) 琵琶湖活用の更なる広がりづくり事業 (0.4百万円)
- (新) みどりのみずべの将来ビジョン作成事業 (20百万円)

### 琵琶湖漁業の持続的発展

- びわ湖のめぐみ消費拡大PR事業 (19百万円)
- しがの漁業担い手確保事業 (7.5百万円)

### 山村の再生、林業成長産業化

- しがの林業・木材産業強化対策事業 (22百万円)  
(県産材の生産力の強化、流通・販売の促進等)
- しがジビエ活用拡大事業 (3.7百万円)

### 「世界農業遺産」認定に向けた取組

- 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業 (10百万円)
- 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト  
(魚のゆりかご水田の普及拡大等) (3.5百万円)



アユの佃煮



木材流通センター支援



環境に配慮した農業  
(魚道を上るコイ)

- ◆木材生産  
平成28年素材生産量 76千㎡(全国39位)
- ◆世界農業遺産  
平成30年度に農林水産省への申請を目指す
- ◆びわ湖の日  
琵琶湖との多様な関わり方の提示による  
新展開

### 環境関連産業の振興

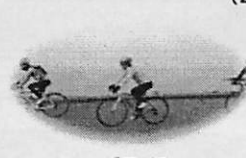
- 水草等対策技術開発支援事業 (11百万円)
- 滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業 (41百万円)

### 体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進

- ビワイチ観光推進事業 (20百万円)
- 「びわ湖の日」活動推進事業 (15百万円)
- エコツーリズム推進支援事業 (3.8百万円)
- (新) おもしろ下物ピオトープ水辺のにぎわい創生事業  
(南湖におけるピオトープ拠点として整備し、自然と触れ合う場を創出)  
(26百万円)



水草堆肥化試験状況



ビワイチ

3

平成30年度当初予算 公表資料(抜粋)

# 琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」④

## 琵琶湖を『支える』取組

### 調査研究

- 国立環境研究所移転関連事業 (134百万円)  
(国立環境研究所琵琶湖分室との共同研究や研究成果の活用・実用化等)
- 水質評価指標としてのTOC等導入に向けた調査研究 (36百万円)
- アユ資源・漁獲情報発信高度化研究 (5百万円)  
(精度の高いアユの生息状況把握手法の開発等)

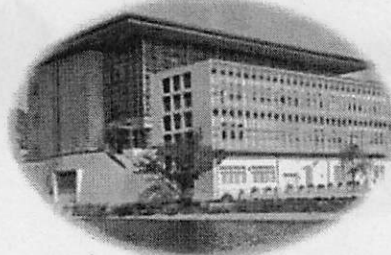
### 多様な主体による協働

- マザーレイクフォーラム推進事業 (1.8百万円)
- 協働の森づくりの啓発事業 (15百万円)  
(森林の価値の発信、森林づくりへの参画促進等)
- (新) 全国植樹祭開催準備事業 (12百万円)

### 環境教育・学習

- 琵琶湖博物館展示事業 (407百万円)
- びわ湖フローティングスクール事業 (260百万円)
- 森林環境学習事業 (110百万円)

- ◆国立環境研究所琵琶湖分室等との連携推進
- ◆TOC等導入に向けた調査研究の推進



琵琶湖環境科学研究センター



マザーレイクフォーラム「びわコミ会議」



びわ湖フローティングスクール

4

平成30年度当初予算 公表資料(抜粋)